

【解説文】 冬季オリンピック・パラリンピック（スキー・スノーボード）で活躍した県ゆかりの選手を表彰

このたび、ミラノ・コルティナ冬季オリンピック・パラリンピックに出場し、活躍された県ゆかりの選手の方々への表彰を決定しましたのでお知らせします。

今回は、オリンピック・パラリンピックの出場選手のうち、スキー・スノーボードの選手の方々7名を表彰いたします。

まず、スノーボード女子ビッグエアで金メダルと、女子スロープスタイルで銅メダルを獲得された村瀬心椛（むらせ ここも）選手に、「岐阜県民栄誉大賞」を授与いたします。

「岐阜県民栄誉大賞」は、スポーツ、文化等の分野において顕著な成果を挙げる など、県の名声を高めるとともに、広く県民から敬愛され、社会に明るい希望を与えた方を表彰するものです。

今回の村瀬選手は、平成28年の金藤 理絵（かねとう りえ）さん以来、約10年ぶり7人目の受賞者となります。

次に、フリースタイルスキー男子デュアルモーグルで銀メダルと、男子モーグルで銅メダルを獲得された堀島行真（ほりしま いくま）選手、

そして、パラリンピックのクロスカンリースキー（立位）・混合4×2.5kmリレーで8位に入賞された、岩本啓吾（いわもと けいご）選手に、「岐阜県文化・スポーツ栄誉賞」を授与いたします。

また、フリースタイルスキー男子ハーフパイプの松浦透磨（まつうら とおま）選手、女子ハーフパイプの桐山菜々穂（きりやま ななほ）選手、

女子スキークロスの新井真季子（あらい まきこ）選手、

パラリンピックのクロスカンリースキー（座位）の佐藤那奈（さとう なな）選手に「岐阜県スポーツ賞」を授与いたします。

そして、今回の表彰と選手の皆様のご活躍を祝して、5月17日（日）には、ぎふ清流文化プラザにおいて、表彰式及び祝賀報告会を開催する予定です。

なお、祝賀報告会の詳細については、決まり次第お知らせいたします。